

令和5年度 産業廃棄物処理実態調査業務 報告書概要

I 事業の概要

1-1 目的

本業務は、第10次千葉県廃棄物処理計画（令和3年3月）の進捗を管理するため、多量排出事業場から提出された（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書及び（特別管理）産業廃棄物処理計画書などを基にして、令和4年度における県全体の産業廃棄物の発生量、排出量、処理量等を把握することを目的とする。

II 多量排出事業場の（特別管理）産業廃棄物の発生量及び処理実績

2-1（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書の概要

令和5年度に提出された多量排出事業場の「（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書」及び「（特別管理）産業廃棄物処理計画書」に基づき、産業廃棄物発生量及び処理実績について整理した。（本項の数値は千葉市、船橋市、柏市を除く県内分を対象とする。）

提出件数を表1に示す。令和5年度提出分として、令和4年度「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」を提出した事業場は414件、同じく「特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書」を提出した事業場は149件、延べ提出事業場総数は563件である。

また、令和5年度「産業廃棄物処理計画書」を提出した事業場は402件、同じく「特別管理産業廃棄物処理計画書」を提出した事業場は156件、延べ提出事業場数は558件である。

表1 実施状況報告書等を提出した事業場の件数

単位：件

業種	令和5年度提出分					
	令和4年度 実施状況報告書			令和5年度 計画書		
	普通 産廃	特管 産廃		普通 産廃	特管 産廃	
農業、林業	7	7	-	7	7	-
鉱業、採石業、砂利採取業	1	1	-	1	1	-
建設業	243	237	6	223	218	5
製造業	212	124	88	220	127	93
電気・ガス・熱供給・水道業	38	35	3	43	39	4
情報通信業	1	1	-	1	1	-
運輸業、郵便業	1	1	-	1	1	-
卸売業、小売業	-	-	-	-	-	-
不動産、物品賃貸業	2	2	-	2	2	-
学術研究、専門・技術サービス業	3	-	3	4	1	3
生活関連サービス業、娯楽業	2	2	-	2	2	-
医療、福祉	48	-	48	50	-	50
サービス業等	5	4	1	4	3	1
合計	563	414	149	558	402	156

2-2 多量排出事業場の（特別管理）産業廃棄物の発生量・排出量

表2に、多量排出事業場における業種別（特別管理）産業廃棄物発生量・排出量を、表3に種類別（特別管理）産業廃棄物発生量・排出量を示す。令和4年度の多量排出事業場における（特別管理）産業廃棄物発生量は10,984千トンであり、昨年度の11,090千トンと比べ、約1.0%減少した。特に、業種別においては、建設業からの発生量が1,378千トンであり、前年度の発生量1,502千トンと比べ、8.3%と大きく減少した。

また、図1～4に産業廃棄物、特別管理産業廃棄物それぞれについて、業種別・種類別の発生量及び排出量の割合を円グラフにて示す。業種別で見ると、いずれも製造業からの発生量・排出量が最も多かった。種類別で見ると、産業廃棄物では「汚泥」が、特別管理産業廃棄物では「特定有害産業廃棄物」が最も多かった。

表2 多量排出事業場の業種別（特別管理）産業廃棄物発生量・排出量の内訳

業種	令和3年度				令和4年度			
	発生量 (t/年)	構成比	排出量 (t/年)	構成比	発生量 (t/年)	構成比	排出量 (t/年)	構成比
農業、林業	418,670	3.8%	406,341	4.0%	420,693	3.8%	408,470	4.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	60,424	0.5%	60,424	0.6%	67,734	0.6%	67,734	0.7%
建設業	1,502,472	13.5%	1,501,614	14.8%	1,377,986	12.5%	1,377,637	14.0%
製造業	6,699,464	60.4%	5,768,336	56.8%	6,708,979	61.1%	5,598,059	56.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	2,381,854	21.5%	2,381,854	23.4%	2,511,493	22.9%	2,511,493	25.4%
情報通信業	2,572	0.0%	2,572	0.0%	2,126	0.0%	2,126	0.0%
運輸業、郵便業	109,188	1.0%	109,188	1.1%	15,018	0.1%	15,018	0.2%
卸売業、小売業	5,367	0.0%	5,367	0.1%	5,690	0.1%	5,690	0.1%
不動産、物品賃貸業	5,109	0.0%	5,109	0.1%	3,294	0.0%	3,294	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	246	0.0%	246	0.0%	237	0.0%	237	0.0%
生活関連サービス業、娯楽業	13,794	0.1%	13,577	0.1%	3,732	0.0%	3,475	0.0%
医療、福祉	8,291	0.1%	8,291	0.1%	9,041	0.1%	9,041	0.1%
サービス業等	319,274	2.9%	319,274	3.1%	309,458	2.8%	309,458	3.1%
合計	11,089,978	100.0%	10,157,775	100.0%	10,984,128	100.0%	9,872,601	100.0%

表3 多量排出事業場の種類別（特別管理）産業廃棄物発生量・排出量の内訳

産業物名	令和3年度				令和4年度			
	発生量 (t/年)	構成比	排出量 (t/年)	構成比	発生量 (t/年)	構成比	排出量 (t/年)	構成比
燃え殻	21,501	0.2%	20,638	0.2%	23,799	0.2%	22,272	0.2%
汚泥	4,002,405	36.1%	3,967,317	39.1%	3,951,504	36.0%	3,949,698	40.0%
廃油	90,394	0.8%	83,906	0.8%	83,642	0.8%	76,124	0.8%
廃酸	92,779	0.8%	91,343	0.9%	75,935	0.7%	75,935	0.8%
廃アルカリ	61,841	0.6%	61,703	0.6%	77,388	0.7%	74,574	0.8%
廃プラスチック類	85,293	0.8%	78,649	0.8%	85,958	0.8%	77,811	0.8%
紙くず	7,781	0.1%	7,781	0.1%	7,822	0.1%	7,822	0.1%
木くず	106,941	1.0%	106,036	1.0%	148,436	1.4%	147,932	1.5%
繊維くず	433	0.0%	433	0.0%	507	0.0%	507	0.0%
動植物性残さ	37,795	0.3%	26,740	0.3%	33,288	0.3%	22,254	0.2%
動物系固形不要物	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴムくず	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金属くず	1,073,641	9.7%	1,036,918	10.2%	936,102	8.5%	896,390	9.1%
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	132,850	1.2%	131,377	1.3%	191,099	1.7%	189,456	1.9%
鋳さい	2,361,017	21.3%	1,550,304	15.3%	2,736,432	24.9%	1,717,931	17.4%
がれき類	1,076,834	9.7%	1,076,834	10.6%	880,854	8.0%	880,854	8.9%
動物のふん尿	40,072	0.4%	40,072	0.4%	34,331	0.3%	34,331	0.3%
動物の死体	83	0.0%	83	0.0%	113	0.0%	113	0.0%
ばいじん	1,556,830	14.0%	1,556,830	15.3%	1,388,643	12.6%	1,388,643	14.1%
その他(13号産業廃棄物)	-	-	-	-	-	-	-	-
混合産業廃棄物	39,150	0.4%	39,150	0.4%	42,140	0.4%	42,140	0.4%
特別管理産業廃棄物	28,605	0.3%	20,982	0.2%	22,368	0.2%	17,239	0.2%
廃油	48,127	0.4%	36,098	0.4%	43,967	0.4%	31,806	0.3%
廃アルカリ	22,135	0.2%	22,135	0.2%	23,119	0.2%	23,119	0.2%
感染性産業廃棄物	8,449	0.1%	8,449	0.1%	9,455	0.1%	9,455	0.1%
廃石綿等	132	0.0%	132	0.0%	373	0.0%	373	0.0%
特定有害産業廃棄物	194,890	1.8%	193,863	1.9%	186,853	1.7%	185,822	1.9%
合計	11,089,978	100.0%	10,157,775	100.0%	10,984,128	100.0%	9,872,601	100.0%

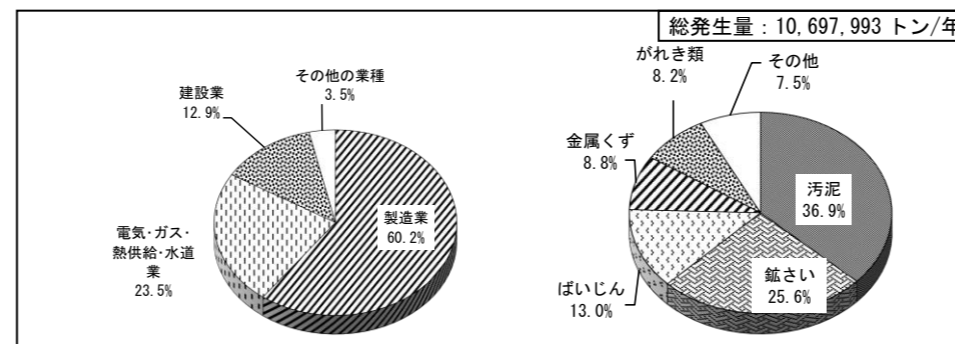


図1 業種別・種類別 産業廃棄物発生量

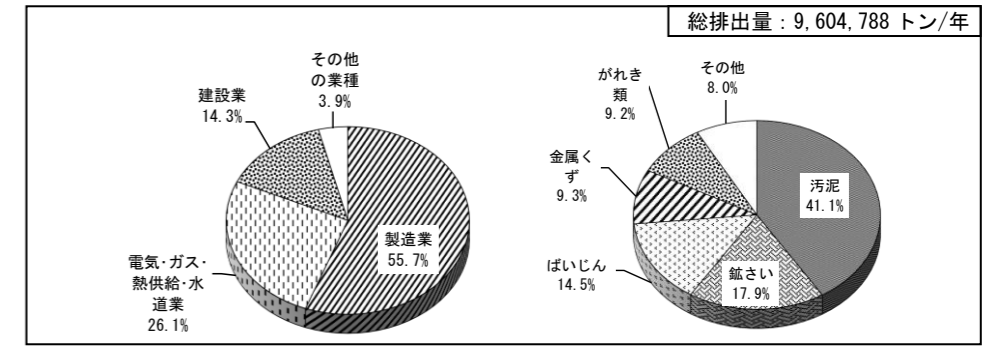


図2 業種別・種類別 産業廃棄物排出量

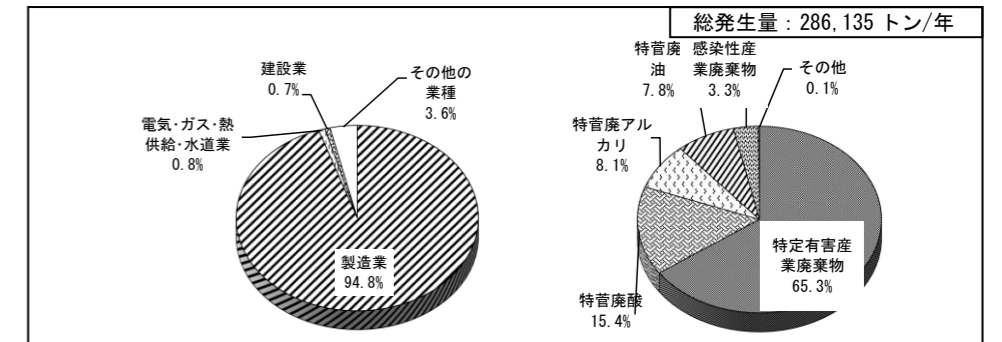


図3 業種別・種類別 特別管理産業廃棄物発生量

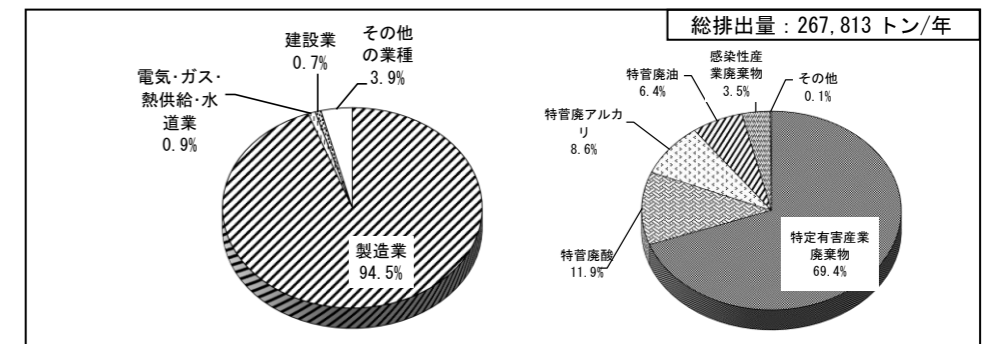


図4 業種別・種類別 特別管理産業廃棄物排出量

2-3 多量排出事業場の（特別管理）産業廃棄物の処理・処分状況

多量排出事業場の（特別管理）産業廃棄物処理フローを図5に示す。

令和4年度の発生量10,984千トンのうち、有償物量が1,112千トン（発生量に占める割合10.1%）であり、残りの9,872千トン（同89.9%）が産業廃棄物として排出されていた。排出量のうち、再生利用量は5,061千トン（排出量に占める割合51.3%）、減量化量は4,677千トン（同47.4%）、最終処分量は134千トン（同1.4%）となっていた。

また、有償物量を含めた資源化量は6,172千トンで、発生量の56.2%を占めていた。

処理計画実施状況報告書を提出した多量排出事業場における（特別管理）産業廃棄物の業種別処理・処分状況（発生量ベース及び排出量ベース）を表4及び表5に示す。

令和5年度 産業廃棄物処理実態調査業務 報告書概要

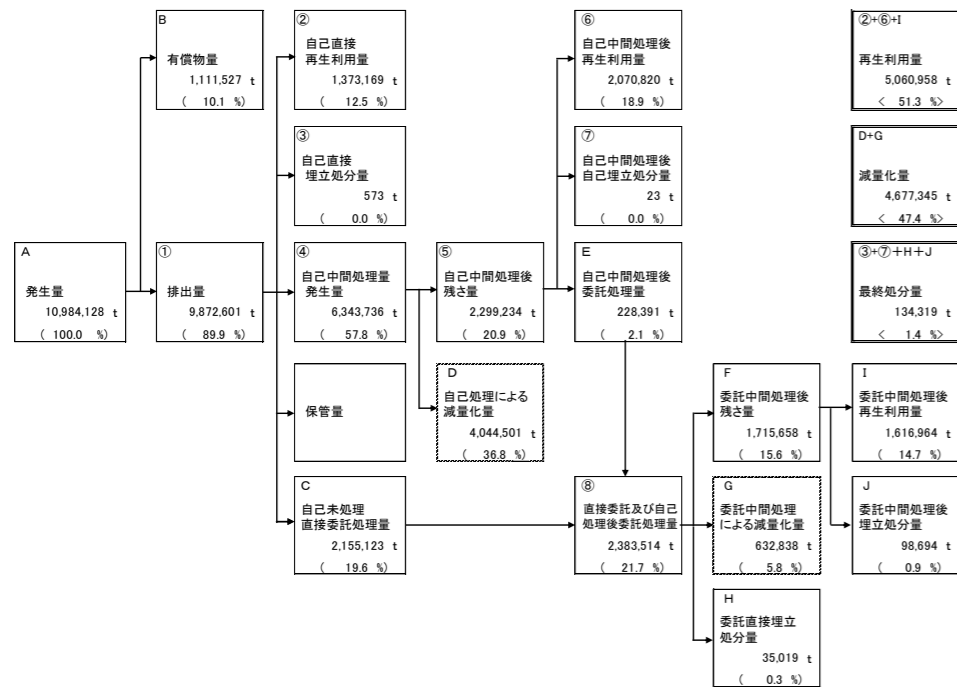


図5 多量排出事業場の（特別管理）産業廃棄物処理フロー

表4 多量排出事業場の業種別発生量に対する処理量・処理率（発生量ベース）

区分	量 (t/年)				処理区分構成比				業種構成比			
	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量
建設業	1,377,986	1,093,125	243,188	41,674	100.0%	79.3%	17.6%	3.0%	12.5%	17.7%	5.2%	31.0%
製造業	6,708,979	4,750,615	1,918,518	39,845	100.0%	70.8%	28.6%	0.6%	61.1%	77.0%	41.0%	29.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	2,511,493	261,658	2,201,265	48,590	100.0%	10.4%	87.6%	1.9%	22.9%	4.2%	47.1%	36.2%
その他の業種	385,670	67,087	314,374	4,209	100.0%	17.4%	81.5%	1.1%	3.5%	1.1%	6.7%	3.1%
合計	10,984,128	6,172,485	4,677,345	134,319	100.0%	56.2%	42.6%	1.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表5 多量排出事業場の業種別発生量に対する処理量・処理率（排出量ベース）

区分	量 (t/年)				処理区分構成比				業種構成比			
	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量
建設業	1,377,637	1,092,776	243,188	41,674	100.0%	79.3%	17.7%	3.0%	14.0%	21.6%	5.2%	31.0%
製造業	5,598,059	3,639,696	1,918,518	39,845	100.0%	65.0%	34.3%	0.7%	56.7%	71.9%	41.0%	29.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	2,511,493	261,658	2,201,265	48,590	100.0%	10.4%	87.6%	1.9%	25.4%	5.2%	47.1%	36.2%
その他の業種	385,412	66,829	314,374	4,209	100.0%	17.3%	81.6%	1.1%	3.9%	1.3%	6.7%	3.1%
合計	9,872,601	5,060,958	4,677,345	134,319	100.0%	51.3%	47.4%	1.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

III 発生量等の推計方法

産業廃棄物の発生量等の推計は、多量排出事業場から発生する産業廃棄物と、それ以外の事業場から発生する産業廃棄物とを加算することによって推計した。多量排出事業者以外から発生する産業廃棄物については、原単位法※を基本として推計により求めた。

※原単位法：原単位（産業廃棄物の場合は、単位活動量指標値当たりの産業廃棄物発生量）に活動量指標値を乗じる事で、母集団の産業廃棄物発生量を推計する手法。

IV 県全体の（特別管理）産業廃棄物の発生量及び処理実績

4-1 県全体の（特別管理）産業廃棄物の発生量・排出量

令和4年度の県全体からの（特別管理）産業廃棄物の推計発生量は22,292千トンであり、昨年度の24,001千トンと比べ、約7.1%減少した。また、令和4年度の多量排出事業場における（特別管理）産業廃棄物の推計排出量19,530千トンであり、昨年度の20,718千トンと比べ、約5.7%減少した。

表6 県全体の業種別（特別管理）産業廃棄物発生量・排出量の内訳

業種	推計発生量 (県全体)	多量排出事業場 (単位:t/年)		
		(県管轄)	(政令市管轄)	多量排出事業場以外
農業、林業	2,909,215	34,536	0	2,874,680
漁業	109	0	0	109
鉱業、採石業、砂利採取業	3,654	2,538	0	1,116
建設業	3,323,605	1,377,986	583,444	1,362,174
製造業	10,417,964	6,708,979	2,340,169	1,368,816
電気・ガス・熱供給・水道業	4,671,191	2,511,493	1,773,744	385,954
運輸業、郵便業	239,526	15,018	0	224,508
卸売業、小売業	153,377	5,690	1,087	146,601
学術研究、専門・技術サービス業	28,104	237	164	27,703
宿泊業、飲食サービス業	25,145	0	0	25,145
生活関連サービス業、娯楽業	61,393	3,732	0	57,661
教育、学習支援業	19,754	0	0	19,754
医療、福祉	25,948	9,041	5,182	11,726
サービス業等	413,245	314,878	924	97,444
合計	22,292,232	10,984,128	4,704,713	6,603,391

4-2 県全体の（特別管理）産業廃棄物処理・処分状況

令和4年度の、県全体における（特別管理）産業廃棄物の処理フローを図6に示す。

令和4年度の発生量22,292千トンに対し、有償物量は2,762千トン（発生量に占める割合12.4%）、排出量は19,530千トン（同87.6%）、資源化量は12,012千トン（同53.9%）となっていた。

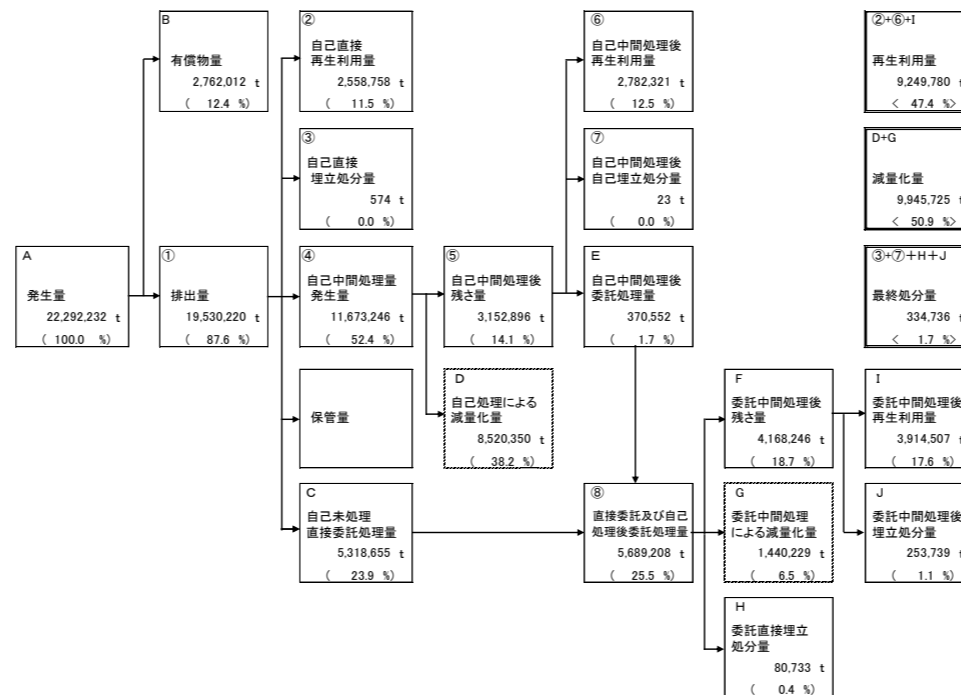


図6 県全体の（特別管理）産業廃棄物処理フロー

表7 県全体の業種別発生量に対する処理量・処理率（発生量ベース）

区分	量 (t/年)				処理区分構成比				業種構成比			
	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量	発生量	資源化量	減量化量	最終処分量
農業、林業	2,909,215	901,041	1,998,123	10,051	100.0%	31.0%	68.7%	0.3%	13.1%	7.5%	20.1%	3.0%
建設業	3,323,605	2,615,805	588,803	118,997	100.0%	78.7%	17.7%	3.6%	14.9%	21.8%	5.9%	35.6%
製造業	10,417,964	7,772,451	2,555,239	90,274	100.0%	74.6%	24.5%	0.9%	46.7%	64.7%	25.7%	27.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	4,671,191	295,030	4,320,027	56,154	100.0%	6.3%	92.5%	1.2%	21.0%	2.5%	43.4%	16.8%
その他の業種	970,257	427,509	483,518	59,229	100.0%	44.1%	49.8%	6.1%	4.4%	3.6%	4.9%	17.7%
合計	22,292,232	12,011,836	9,945,711	334,706	100.0%	53.9%	44.6%	1.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表8 県全体の業種別排出量に対する処理量・処理率（排出量ベース）

区分	量 (t/年)				処理区分構成比				業種構成比			
	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量
農業、林業	2,672,653	664,479	1,998,123	10,051	100.0%	24.9%	74.8%	0.4%	13.7%	7.2%	20.1%	3.0%
建設業	3,292,496	2,584,696	588,803	118,997	100.0%	78.5%	17.9%	3.6%	16.9%	27.9%	5.9%	35.6%
製造業	7,977,504	5,331,991	2,555,239	90,274	100.0%	66.8%	32.0%	1.1%	40.8%	57.6%	25.7%	27.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	4,668,719	292,558	4,320,027	56,154	100.0%	6.3%	92.5%	1.2%	23.9%	3.2%	43.4%	16.8%
その他の業種	918,848	376,100	483,518	59,229	100.0%	40.9%	52.6%	6.4%	4.7%	4.1%	4.9%	17.7%
合計	19,530,220	9,249,825	9,945,711	334,706	100.0%	47.4%	50.9%	1.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 廃棄物処理計画の進捗管理

令和4年度の産業廃棄物の最終処分量は335千トンであり、廃棄物処理計画で定める令和7年度の目標値280千トンを大きく超過している。循環利用率は47.7%と、令和7年度の目標値52.0%より、4.3ポイント少ない。

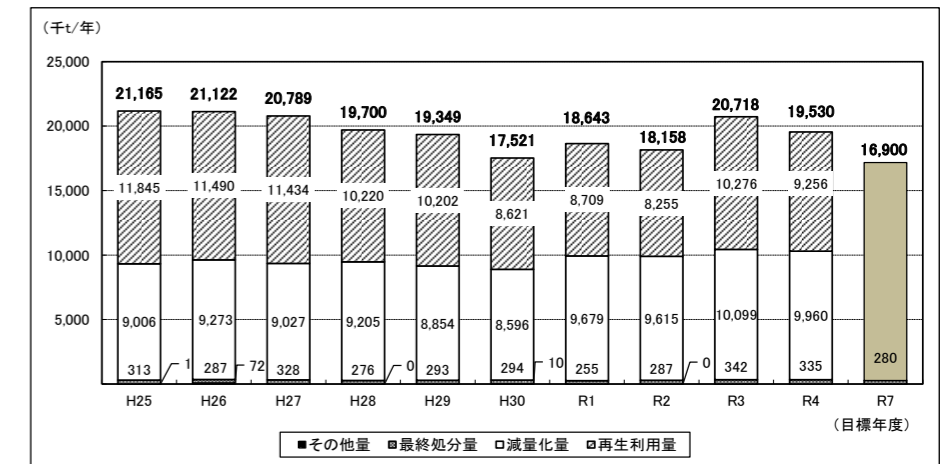


図7 産業廃棄物の処理量の推移

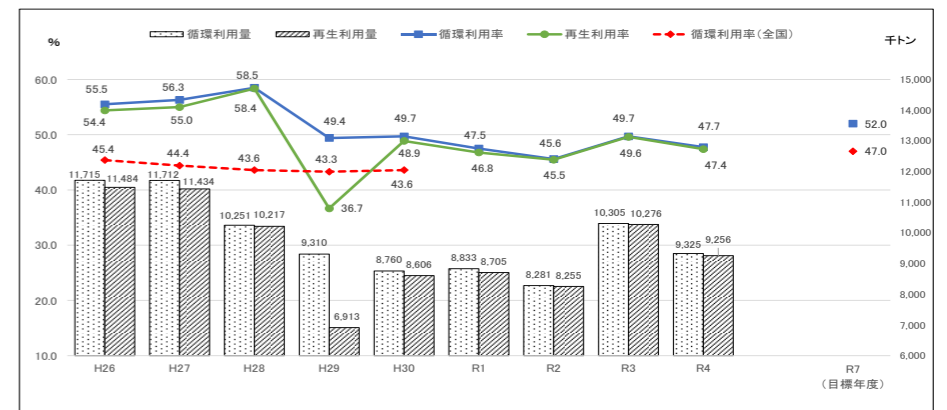


図8 産業廃棄物の循環利用量・再生利用量の推移